

青森県立中央病院治験審査委員会 会議の記録の概要

委員会等名：治験審査委員会（平成 23 年度第 10 回）

開催日時：平成 24 年 3 月 13 日（火曜） 15：00～16：00

場所：青森県立中央病院 第一会議室

出席委員（8 名）：藤野安弘（委員長）、野村眞美（副委員長）、原田研、川口俊明、
鳴海ゆき子、五戸雅彰、三上広美、徳光幸子

欠席委員（2 名）：小川吉司、青山滋

議題及び審議の結果を含む議論の概要

【審議事項】

- 議題 1) エプピー株式会社の依頼によるパーキンソン病患者を対象とした FPF1100NW(セレギリン塩酸塩)の長期投与試験（第Ⅱ相試験）
これまで得られている臨床試験成績に基づき、治験実施の妥当性について議論した。
審議結果：承認
- 議題 2) ノバルティスファーマ株式会社の依頼による慢性期慢性骨髄性白血病患者を対象としたニコチニブの製造販売後臨床試験
試験実施計画書等の変更による試験継続の妥当性について議論した。
審議結果：承認
- 議題 3) 第一三共株式会社の依頼による虚血性脳血管障害患者を対象とした CS-747S（プラスグレル塩酸塩）の第Ⅲ相試験
治験実施計画書等の変更による試験継続の妥当性について議論した。
審議結果：承認
- 議題 4) 株式会社ヤクルト本社による胃癌患者を対象とした L-OHP の第Ⅲ相試験
治験責任医師の変更による試験継続の妥当性について議論した。
審議結果：承認
- 議題 5) 田辺三菱製薬会社の依頼による FTY720 の後期第Ⅱ相試験②
国内で発生した有害事象報告について、依頼者及び責任医師の見解をもとに試験継続の妥当性について議論した。
審議結果：承認
- 議題 6) 大鵬薬品工業株式会社の依頼によるがん疼痛を対象とした OVF の第Ⅲ相比較試験
海外で発生した有害事象報告について、依頼者及び責任医師の見解をもとに試験継続の妥当性について議論した。
審議結果：承認
- 議題 7) ノバルティスファーマ株式会社の依頼による慢性期慢性骨髄性白血病患者を対象としたニコチニブの製造販売後臨床試験
6 カ月毎の定期報告について、依頼者及び責任医師の見解をもとに試験継続の妥当性について議論した。
審議結果：承認
- 議題 8) MSD 株式会社の依頼による第Ⅱ相試験
国内外で発生した有害事象報告について、依頼者及び責任医師の見解をもとに試験継続の妥当性について議論した。
審議結果：承認
- 議題 9) 小野薬品工業株式会社の依頼による ONO-4641 第Ⅱ相試験【継続試験】
海外で発生した有害事象報告について、依頼者及び責任医師の見解をもとに試験継続の妥当性について議論した。
審議結果：承認
- 議題 10) 協和発酵キリン株式会社の依頼による高齢の非ホジキンリンパ腫患者を対象とした KRN125 の第Ⅲ相試験【一般臨床試験】
海外で発生した有害事象報告について、依頼者及び責任医師の見解をもとに試験継続の妥当性について議論した。
審議結果：承認

- 議題 11) 第一三共株式会社の依頼による虚血性脳血管障害患者を対象とした CS-747S (プラスグレル塩酸塩) の第Ⅲ相試験
海外で発生した有害事象報告について、依頼者及び責任医師の見解をもとに試験継続の妥当性について議論した。
審議結果：承認
- 議題 12) バイエル薬品株式会社の依頼による急性症候性深部静脈血栓症患者を対象とした BAY59-7939 (DVT) の第Ⅲ相試験
海外で発生した有害事象報告及び 6 カ月毎の定期報告について、依頼者及び責任医師の見解をもとに試験継続の妥当性について議論した。
審議結果：承認
- 議題 13) バイエル薬品株式会社の依頼による急性症候性肺塞栓症患者を対象とした BAY59-7939 (PE) の第Ⅲ相試験
海外で発生した有害事象報告及び 6 カ月毎の定期報告について、依頼者及び責任医師の見解をもとに試験継続の妥当性について議論した。
審議結果：承認
- 議題 14) MSD 株式会社の依頼による第Ⅱ相試験
当院で発生した重篤な有害事象報告(第 5 報、最終報)について、経過及び責任医師の見解をもとに引き続き試験を実施することの妥当性について議論した。
審議結果：承認

【報告事項】

以下の迅速審査等について報告された。

- 議題 1) 第一三共株式会社の依頼による DS-5565 第Ⅱ相国際共同試験
治験実施体制の変更 (平成 24 年 3 月 1 日 (木) 実施：承認)
- 議題 2) ファイザー株式会社の依頼による糖尿病黄斑浮腫患者を対象とした EYE001 の第Ⅲ相試験
治験実施体制の変更 (平成 24 年 3 月 1 日 (木) 実施：承認)